

令和4年度 松川村総合教育会議 会議録

日時：令和4年7月27日（水）

：午後4時00分～

場所：松川村役場2階「講堂」

出席者：〔教育委員〕 丸山教育長職務代理、有賀委員、増澤委員、高田委員

〔村部局〕 平林村長

〔教育委員会〕 古畑教育長、望月教育次長、糊澤社会教育課長、下條学校教育係長、
一柳子育て世代包括支援センター、武井学校教育係

欠席者：なし

1 開会

望月教育次長

これより令和4年度第1回松川村総合教育会議を開会します。本日、大糸タイムスさんより会議の傍聴の申し出がありましたので、よろしくお願ひします。

2 村長あいさつ

平林村長

みなさん、こんにちは。定例教育委員会のあと、大変お疲れ様です。村の方も、教育委員会からの予算等につきましては、できるだけ予算書に載せて実施をしていきたいという考え方の中でやってきました。その中で、一昨年、去年、今年の3年間、鹿港鎮との交流に子どもたちが行けておりません。残念ですが、コロナの関係で仕方がないと思っております。教育長からは、代わりにどこかへという話がありましたが、ちょっとどうかなと思ひ、私は返事をしませんでした。来年度以降またそういうことがあれば考えたいと思ひます。

8月6日は広島県で平和記念式典が行われます。それには松川中学校生徒4名と校長先生、村の職員2名が参加予定となっております。そういうことでできるだけことはしていきたいと思ひますが、このコロナの中でできないことも多々ありますが、ご理解をいただけたらと思ひます。

現在、松川村ではこれまでに354人の方がコロナにかかっています。今日は、北アルプス圏域で33人です。身近でコロナにかかっている方が出てきていますので、ぜひみなさん注意しながら8月を乗り切っていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

3 協議事項

①子育て世代包括支援センターの取り組み状況について

望月教育次長

令和3年4月に子ども未来センターかがやきに子育て世代包括支援センターを開設しました。センターの取り組み状況について、一柳係長よりご説明申し上げます。

一柳係長

相談件数等概要説明

望月教育次長

何かご意見やご質問等ありましたらお願いします。

有賀委員

実績報告にある相談者数ですが、実際に訪れた人ですか。対象のお子さんですか。

一柳係長

対象のお子さんです。お子さんのことで来られた場合は、お子さんでカウントさせてもらって、中には親御さん自身の健康問題とか、経済問題ということでご相談いただいた方もいらっしゃるののでそういう方は妊婦、親というところにカウントしています。

有賀委員

そうすると、昨年度は保育園、小学校のお子さんの相談が多かったということですね。

一柳係長

昨年度は、そのような状況でした。

望月教育次長

他にご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

全員

なし。

②令和4年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」に関する報告書について

望月教育次長

概要説明

ご意見ご質問等ありましたらお願いします。

丸山職務代理

平林村長にお聞きしたいのですが、鹿港鎮との交流に期限はありますか。

平林村長

期限はありません。鹿港鎮に調整役の方がいます。その方に間に入っていて、こちらと向こうからの要望を伝えて下さっています。鹿港鎮と松川村、学校同士でそれぞれ協定を結んでいるので交流は行える状態となっています。

丸山職務代理

安心しました。

望月教育次長

他にご意見等ございますか。

有賀委員

点検・評価に対する学識経験者の意見要旨の中で、標準学力検査等を活用すれば教職員の過度の負担とならないとされる意見についての説明をお願いします。

望月教育次長

業者と委託契約を結び、検査から分析まで、その業務の中に入っておりますので、先生の手元には、各児童・生徒の傾向など苦手な部分や得意な部分などの分析が出てきます。そういった分析は、基本的に先生方の業務が多忙の中で、分析まで先生方に任せてしまうと大変だということで、そういった検査をうまく活用して先生の負担も軽減して、ぜひ学力の向上ですとか、児童・生徒の学びをしっかりとできる場を充実させていただきたいというような趣旨のご意見でした。

有賀委員

松川中学校の先生は、過度な負担になっている状況はありますか。

望月教育次長

今後、地域移行という形を進めていくという話がありますが、部活動の関係などはそういった部分もあるかと思えます。また小学校の関係なども通常の学習の他にもコミュニティスクール等、いろいろな多方面の学びがあります。そういった部分で先生方の通常の学習以外で担う部分が出てきていると思えます。ただ、コミュニティスクールの関係も学校運営委員会等を組織して、その中で、地域で支援をするというような形をとっています。そういったところで、地域での支援を進めていきたいというようなところが、村の現在の考え方となります。

有賀委員

今、お話のあったコミュニティスクールと部活動については、解決方法があるということでしょうか。

望月教育次長

コミュニティスクールは、学びの方法の1つというところで、負担を減らすというところに直結ではないのかもしれませんが、子どもたちの学びを充実させていく1つの方法というところで進めておりますし、部活動の関係も今後、地域への移行というようなところもありますので、負担を減らしていくように進めています。また、村費の教職員の先生の配置等もしていますので、学習支援や様々な形での負担軽減や児童・生徒の学びの充実を図っているところです。

望月教育次長

他にご意見等ございますか。

丸山職務代理

不登校や引きこもりという形で、親からSOSが出た場合には対応ができるけど、子どもを外に出さないようにして閉じ込めている雰囲気はなんとなく残っている気がして、障がいを持った子どもたちが、障がいを持っていても一生懸命お金を稼げて充実した生活を送っている子どもたちが多く中で、見えなくなっている子どもたちはいないのだろうか

ていうのがちょっと不安です。SOSを出せばいいですが、苦しさと知らずになんとなく生きている子どもたちがいる気がして、民生児童委員さんに地域の状況を把握してもらおうとか、社協でも動いて下さっていますが、声にならない声を何とか聞く体制をとと思います。虐待とか目に見えれば周りも動けるけど、静かにしている場合は、その情報をどうやって掴んだらいいのか。家の中でじっとしている子も何人かいると思いますが、何とか一人でも多く救えたらと思います。そういう意味では、窓口を切り開いて、子育て世代包括支援センターを開いていることが大きくわかりますので、大変ですけど、頑張ってください。

一柳係長

ありがとうございます。学齢期の間は何らかの関わりを持っていくことが、大事だと思っております。義務教育の間だと全数把握が可能なので、その間に不登校になってしまったとか引きこもりがちというようなケースには、相談対応できればと思っております。青年期以降は福祉課福祉係で、引きこもりケースに対する支援を担当し、若年層の関わりも何ケースかしております。それでもなかなか入り込めないお宅も出てきてはいます。村だけではなくて専門機関の方たちとも連携を取りながら、良い支援が行えればと思います。日々、福祉課や私どもの方でも、方法論の検討をしておりますので、またぜひ、お力をいただければありがたいと思っております。よろしく申し上げます。

古畑教育長

不登校や引きこもりになった時には、もう実際に信号を出してくれているので、そうなる前に事前にどう防ぐか連携を取りながらできればと思います。

丸山職務代理

保育園の園児の頃から、教育相談がきちんとできていて、親も気楽に相談ができるように大きく変わってきていると思います。

望月教育次長

他にご意見等ございますか。

平林村長

一柳係長の先ほどの説明の中で、子育て世代包括支援センターにさらに専門の職員を増やしてほしいと要望があると聞こえましたが。

一柳係長

増やしてほしいということではなく、子育て世代包括の業務は経験がある職員の方がやりやすい仕事かと考えているので、専門職間でも担当の業務以外の分野も勉強する機会を設けてもいいのかなと思います。今の職員体制では、どうしてもそれぞれの分野の狭い知識の中での業務になってしまう傾向にあり、そこをお互い共有ができると、日頃から様々な経験が積めるのではという意味合いでお話をさせていただきました。

平林村長

経験はぜひこれから積んでいってもらいたいと思います。ご存知のように松川村職員定数条例は95人で、現在86人しかおりません。現在、定数条例に入らない職員の方がたくさんおります。会計年度任用職員の方が200人近くおりますので、職員の体制

は整えていると思っています。村も対応を考えていますが、今いる人員の適正配置により、子どもたちのための対応をお願いします。不登校の子どもたちがいるとか、引きこもりの人たちがいるというのは、心が痛みます。精一杯やってきている中ですが、1人でも多くの子どもの救ってほしいと思います。できるだけことはしていきたいと思うので、ご理解いただきたいと思います。

望月教育次長

ありがとうございます。他にご意見等ございますか。

高田委員

やはり、小さい時から継続して見守っていただくことが大事だと思いました。

望月教育次長

母子手帳の発行の段階から保健センターの保健師等、専門職が関わっておりますし、心配なご家庭があれば、連携を図って見守りですとか色々な制度を使って支援を進めて、家庭支援というような形で、福祉課、児童相談所などと連携しながら、進めていきたいと思うので、よろしくをお願いします。

増澤委員

子育て世代包括支援センターとして分かりやすくなり、相談もしやすくなったと思います。親が支援を求めたり、どうしたらいいのか不安になったりしても、ここで助けてもらえるということが分かりやすくなって良かったと思います。専門職は、すごく求められると思いますし、小さい子の障がいの方に目が向きやすいのですが、親の支援の方がすごくその子の今後の人生を含めて大事だと思うので、ぜひ、学んでいってもらえたらと思います。

望月教育次長

全体を通してご意見ご質問等ございますか。

全員

なし。

望月教育次長

長時間にわたり、ご意見をいただきましてありがとうございました。以上で閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

終了 午後5時00分